

1. はじめに

月半ばまで 0℃付近の日々が続き、月末に近づくにつれ、比較的温かい日が訪れるようになり、ロチェスターでも雪ではなく雨がふるようになってきました。今月は第 2,3 週目に Spring Break という春休みのような 1 週間があり大学も休みだったので、またニューヨークシティとその近辺にいきました。そのときのことをまとめたいと思います。

2. NYC



シラキュースのバスターミナル付近

NYC に行く手段として、時間に追われるような予定ではなかったので、安さ目的で今回もバスを利用しました。このときは NY 州ほぼ全域雪のようで NYC につくまでの道は全て写真のように白く染まっていました。アメリカのバスはよく遅れるというのは以前も述べたと思いますが、雪もあり今回も 1 時間遅れての出発でした。シラキュースに一時休憩した後出発してから 30 分ぐらいでバスに異常が起き一旦戻ることになったりそこから代わりのバスを待ったりした結果、最終的に 4 時間弱ぐらい遅れました。

次に帰りの時なのですが、到着時間はほぼ定刻通りでした。実のところ、ロチェスターシラキュース方面に行く人数が多すぎてそのバスだけじゃ乗せきれないということで目的地別にゲートが変更になり、バスの手配等で出発は遅れたものの到着は途中の停留所による必要がなくなったため、結果的に定刻通りにバスは着きました。しかし、そのゲート変更も放送アナウンスではなく口頭で伝えるだけなので、その点には不親切さを感じました。不親切さでいえば、NYC の地下鉄でもクイーンに向かう上りの電車は車内に電光掲示板がありますが、ブルックリン方面に向かう下りにはついてないので、ついた駅を確認するには窓から駅の壁に書いてある駅名を探して判断する必要がありました。日本はそういう面は親切だなと思え、日本の良さを再確認する一方で、アメリカ生活では自分でとにかく確認すること、それが何よりも重要であると感じた経験でした。今回のバスのゲート変更もわかり唐突だったので、回りの人に行き先を聞いたり、その伝令係の人にチケットみせてこれどこいけばいいのと聞いたりしました。



St. パトリックス・デー

滞在中にあるパレードをやっていました。聖パトリックの命日である3月17日に毎年あるパレードで、彼がアイルランドにキリスト教を伝えたとされていることからアイルランドの祝祭日でもあるそうです。左上側の写真の旗もアイルランドとアメリカ合衆国の国旗が掲げられていますし、右上のマーチングバンドのような人たちも民族衣装（キルト？）のような服装で行進していました。マンハッタンで開かれるこのパレードの特徴として、緑ということがあります。その聖パトリック氏のトレードマークがシャムロックで、それにちなんで緑色のものを身につけるイベントなようです。実際に、左下の写真の手前の男性のニット帽も緑色でしたし、奥の馬車も緑を意識した装飾が見て取れると思います。また、有名なTシャツでI LOVE(ハートマーク)NYと書かれたものがありますが、この日は緑色のそのTシャツが売られていました。

パレードがあったので交通規制もあったのですが、セントラルパークを横断する道の規制の仕方がどこかアメリカらしさを感じさせる大胆で雑な感じに非常に興味を抱いたのでイベントと関係ないですが、右下に写真をのせています。

憶測ですが、もしかしたら、日本の一大宗教がキリスト教であったならば、ザビエルデーという祝祭日が日本にもあったかもしれません。

3. おわりに

3月も終わり春学期も終盤を迎え、4月末にはELCの授業も終わります。一応RITの講義は5月1週目まで続きますが、留学期間もそれを終えると帰国するのみとなるので、最後の月はやるべきことをやり後悔なきように過ごしたいと思います。